※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新詳世界史探究（帝国出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史に興味・関心を持ち、歴史的事象に「なぜ」の視点を持って考える。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を知り、異文化を理解する。
・多様な価値観、異文化を認め、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料から読み取り、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
・文化の多様性・複合性と現代社会の特質を広い視野から考察し、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現に至るよりよい方途を思考し判断でき、表現できる。
・歴史的思考力を培い、主体的に平和で民主的な国際社会を実現していく資質を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本及び世界の形成の歴史的過程と、生活・文化の地域的特色や違いについて、基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色や違いを、世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて、客観的に判断し適切に表現している。	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的な、よりよい社会・世界の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		世界史を学ぶにあたって	a:世界の歴史の基本的な流れを、日本の歴史と関連付けて総合的に理解し、世界史を学ぶことに興味・関心を持っている。	定期テスト 小テスト ワークシート		
1	オリエントと地中海世界	１．古代オリエント世界	a:六十進法や暦など，オリエントの古代文明の現代にまで与えている影響の大きさを考察し，文章にまとめる。 アケメネス朝やササン朝の文明が，東西諸民族の交流やその文明に影響を与えたことを考察し，文章にまとめる。 西アジア世界の地理的特質，メソポタミアとエジプトを中心としたオリエント世界の展開，イラン人王朝の活動とその文明の特徴を理解し，その基本的な知識を身につけている。 b:教科書に掲載されているメソポタミア・エジプトの各文明の資料・図版・写真などを適切に活用している。 アケメネス朝やササン朝の文明を代表する工芸品の図版を活用している。 c:メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明を，関心を持って学習しようとしている。 アケメネス朝やササン朝の文明の果たした役割を追究しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		２．ギリシア世界	a:ギリシア文明がアレクサンドロスの遠征で広く西アジア一帯に伝えられたことや，民主政治がのち世界に与えた影響を考察し，文章にまとめる。 地中海一帯の地理的特質，ギリシア文明の形成とその基盤となったポリス世界の特色について，基本的な知識を身につけている。 b:教科書に掲載されているギリシア世界の地図やアテネのアクロポリス，重装歩兵の図版などの諸資料を適切に活用している。 c:オリエントの影響を受けたエーゲ文明とポリスを中心とするギリシア文明の意義を探究しようとしている。			
		３．ローマ世界	a:皇帝理念やキリスト教の発展をもたらしたローマ文明と，のちのヨーロッパ世界との繋がりを多角的に考察し，文章にまとめる。 ローマの帝国化の過程やローマ法，皇帝理念，キリスト教などについて把握し，基本的な知識を身につけている。 b:教科書に掲載されているローマ世界の地図や図版，および新約聖書などの諸資料を適切に活用している。 c:ローマ世界の特色とキリスト教発展の意義を，関心を持って学習しようとしている。			
1	アジア・アメリカの古代文明	１．インドの古典文明	a:インダス文明の都市的な性格，マウリヤ朝・グプタ朝の発展と宗教との繋がり，南インドの非アーリヤ人王朝の動向を多角的に考察し，文章にまとめている。 ヒンドゥー教とカースト制が南アジア世界に統一性を与える要素となったことや，仏教の伝播の意義を多角的に考察し，文章にまとめている。 高度な都市文明であったインダス文明の特色とアーリヤ人・非アーリヤ人の王朝の展開を理解し，その基本的な知識を身につけている。 ヒンドゥー教とカースト制の特徴，南アジアにおける仏教衰退の理由を把握し，その基本的な知識を身につけている。 b:教科書に掲載されているインダス文明とアーリヤ人の進入を示した地図やインド諸王朝の領域図，「海の道」とおもな産物を示した地図，遺跡や仏像などの写真を適切に活用している。c:南アジアの多様な自然条件の中で，北インドを中心にインダス文明やアーリヤ人の諸国家が形成，発展していったことを，関心を持って学習しようとしている。 c:バラモン教やヴァルナ制度，仏教の特徴について関心を持って学習しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		２．東南アジアの諸文明	a:東南アジア諸民族がインド・中国文明の影響を受けながら，独自の発展をしていったことを理解し，その基本的な知識を身につけている。 b:東南アジアの諸民族が海上交易の拡大に伴って港市国家を形成・発展させていった過程を多角的に考察，判断している。 教科書に掲載されている東南アジアの地図や宗教遺跡などの写真を適切に活用している。 c:東南アジアの諸民族独自の歩みや国家形成を，南アジア文明や中国文明の影響と関連させながら学習しようとしている。			
		３．中国の古典文明	a:殷・周時代の文字や秦・漢帝国の皇帝観など，中華文明の重要な要素の出現の意義を考察し，文章にまとめる。 周辺諸国との冊封関係などから，中国を中心とする東アジア世界の骨格が形成されたことを考察し，文章にまとめる。 農耕を中心とする東アジアの社会や生活，文化や思想に関する資料を収集し，考察した結果を適切に表現している。 中国文明の起源である黄河・長江文明，殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成を理解し，その基本的な知識を身につけている。 秦・漢帝国の意義や世界との繋がりを理解し，その基本的な知識を身につけている。 b:教科書に掲載されている東アジアの地勢図や歴史地図，図版を適切に活用している。 c:モンスーン気候地帯に属している東アジア世界の風土とともに，黄河・長江の新石器文明から殷・周，秦・漢帝国という中華文明形成期の社会や文化の特質を追究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

1	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	１．草原の遊牧民とオアシスの定住民	a：内陸アジア東部に進出した匈奴を代表とする騎馬遊牧民の動向を，その文化や軍事力と関連付けて考察し，文章にまとめる。内陸アジアの乾燥した風土を理解し，匈奴を代表とする騎馬遊牧民と秦・漢帝国のオアシス都市の覇権をめぐる抗争に関する基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されている内陸アジアの地勢図，オアシスの生活を理解する図版やスキタイのコラム，遊牧民の写真などを適切に活用している。 c：スキタイの影響を受けた匈奴など騎馬遊牧民による国家の活動を，オアシス民の生活と比較しながら学習しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		２．北方民族の活動と中国の分裂	a：魏晋南北朝時代の社会経済の変化，日本をはじめとする周辺国家の形成を中国史全体の流れと関連付けて考察し，文章にまとめる。 遊牧民の華北進出と定住化，均田制などの新しい制度のしくみを理解し，中国分裂期の基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されている分裂時代の諸王朝の領域図や，魏晋南北朝の文化を示す資料や図版を適切に活用している。 c：北方諸民族の王朝と江南に移った漢族の王朝の興亡に関して，その社会経済や文化を比較しながら学習しようとしている。			
		３．東アジア文化圏の形成	a：唐王朝が名実ともに東アジア文化圏を形成したことを，その築き上げた整然とした国家制度や文化から判断し，文章にまとめる。 律令制度や文化の理解に加え，唐王朝が東アジア世界と内陸アジア世界を含む政治的秩序を形成したことを把握し，日本や新羅などの国家体制の整備に関する基本的な知識を身につけている。 b：唐王朝の社会や文化の国際性を示す資料・図版・写真などを適切に活用している。 玄奘の図版や唐三彩などの工芸品の図版から，文化の密接な交流の例を調べている。 c：隋唐帝国の成立が遊牧民と漢人の融合，内陸アジアでの突厥の成立を背景にしていることを理解し，その役割を日本など隣接諸国の動向とともに学習しようとしている。			
2	イスラーム世界の形成と発展	１．イスラーム世界の形成	a：イスラーム教の成立を西アジアの情勢や社会的な背景と関連付けて考察し，文章にまとめる。 アラブ帝国とイスラーム帝国の差異，イスラーム世界の拡大について，多角的に考察し，文章にまとめる。 イスラームの特質やその形成過程について，基本的な知識を身につけている。 カリフによる征服活動や，イスラーム法に基づくアッバース朝の国家体制に関する基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されているイスラーム以前の西アジアの地図やイスラーム世界の領域図，コルドバのモスクなどの写真を適切に活用している。 c：ムハンマドの活動やイスラーム教の特質について，関心を持って学習しようとしている。 イスラーム帝国の統治システムについて，関心を持って学習しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		２．イスラーム世界の発展	a：イスラーム世界の東方への拡大と西方における変容を，内陸アジア世界やヨーロッパ世界の動向と関連付けて考察し，文章にまとめる。 経済の発展をカイロの繁栄を軸に考察し，文章にまとめる。 トルコ系民族を軸としたイスラーム世界の諸地域における発展に関して，基本的な知識を身につけている。 ムスリムの交易活動やイクター制の内容を理解している。 b：教科書に掲載されている 11 世紀後半のイスラーム世界の地図，マムルークの図版やアルハンブラ宮殿の写真などを適切に活用している c：イスラーム世界の分裂と変容の過程について，関心を持って学習しようとしている。 ムスリム商人が築いた海域・内陸のネットワークについて，関心を持って学習しようとしている。			
		３．イスラーム化の進展	a：インドや東南アジアなど諸地域世界のイスラーム化の影響を，現代の国際政治・社会の視点から考察し，文章にまとめる。 諸地域世界のイスラーム化の過程，ムスリム商人や神秘主義教団の果たした役割に関する基本的な知識を身につけている。 b：インドや東南アジアへのイスラームの伝播を示す地図，アフリカのイスラーム化に関する地図や図版などを適切に活用している。 c：インドや東南アジア，アフリカのイスラーム化とその地域に与えた影響について，意欲的に学習しようとしている。			
		４．イスラーム文明の発展	a：イスラーム世界の統一性が守られてきた理由を，イスラーム文明の基盤から考察し，文章にまとめる。 イスラーム文明が古代以来の西アジア文明を基盤としてユーラシア各地の要素を加えて形成された融合文明であることを理解し，その学問と文化活動の基本的な知識を身につけている。 b：イスラームの社会を理解するため，モスクの構造図などの図版・写真などを適切に活用している。 c：音楽やミニアチュールなどを活用し，イスラーム文明の特色に触れることができている。 イスラーム文明の具体的な影響や役割，形成されたネットワークの意義について意欲的に学習しようとしている。			
2	ヨーロッパ世界の形成と発展	１．西ヨーロッパ世界の成立	a：地中海世界の解体をゲルマン人の移動やイスラーム勢力の進出と関連付けて考察し，文章にまとめる。 封建社会の仕組みとローマ教皇権の発展を多角的に考察し，文章にまとめる。 ゲルマン人の移動やノルマン人などの諸民族の進入による影響，フランク王国とローマ教皇の提携の意義など，西ヨーロッパ世界の形成と発展に関する基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されている地勢図や領域図，ゲルマン民族の移動図などを適切に活用している。 荘園の構造などの概念図や図版・写真・資料を適切に活用している。 c：フランク王国とローマ教皇の提携の意義，ノルマン人などの諸民族進入の影響について，関心を持って学習しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		２．東ヨーロッパ世界の成立	a：ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルが経済的に発展した理由や，帝国とスラヴ人との関係を多角的に考察し，文章にまとめる。 ビザンツ帝国やスラヴ人諸国家によって形成された，東ヨーロッパのギリシア的世界の多様性に関して，基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されているビザンツ帝国や東ヨーロッパ世界の領域図，特色ある聖堂や聖母子のイコン，プラハなど東欧の景観といった図版を適切に活用している。 c：ビザンツ帝国の特色とスラヴ人など周辺民族の活動を意欲的に学習しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		３．西ヨーロッパ中世世界の変容	a：封建社会の変容やヨーロッパの拡大を，国王による中央集権化と関連付けて考察し，文章にまとめる。 商業の発展や自治都市の形成を封建社会の衰退と関連付けて考察し，文章にまとめる。 西ヨーロッパ封建社会の変容，中世都市と商業の発展，諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されている十字軍と西ヨーロッパ勢力の拡大，中世都市と交通路といった地図や，マグナ=カルタ，フスら人物コラムなどの資料，図版を適切に活用している。 c：西ヨーロッパの中世都市の発展や封建社会の変容過程を，関心を持って学習しようとしている。 中世西ヨーロッパ諸国の政治・社会の動向について，関心を持って学習しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		４．西ヨーロッパの中世文化	a：修道院運動やイスラーム文明の影響など，中世ヨーロッパ文化を多面的に考察し，文章にまとめる。 修道院の果たした役割，12世紀ルネサンスや美術・文学など，中世文化に関する基本的な知識を身につけている。 b：教会建築や騎士道文学，当時の農民や都市の生活の様子を理解する図版などにより，中世ヨーロッパ社会の特色に触れることができている。 c：中世文化の特色とキリスト教会の果たした役割について関心を持って学習しようとしている。			
３	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	１．トルコ化とイスラーム化の進展	a：トルコ民族の内陸アジアにおける台頭をトルキスタンの成立と関連付けて考察し，文章にまとめる。 遊牧国家ウイグルの崩壊以降，トルコ系遊牧民が広く内陸アジアに定住し，イスラーム化していったことに関する基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されている中央アジアのトルコ化と東西トルキスタンの地図，ウイグルの仏教壁画などの図版を適切に活用している。 c：トルコ人のイスラーム化と西方への民族移動の世界史的影響について関心を持って学習しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		２．東アジア諸地域の自立化	a：中国周辺諸国の独自の文化形成，遊牧諸国家の支配体制の特徴，宋の統治体制とその社会や文化の特色を，東アジア文化圏の統合力の変化という視点から考察し，文章にまとめる。 日本や高麗といった東アジア周辺諸国の政治権力の交替や，文化の確立に関する基本的な知識を身につけている。 契丹や女真の二重支配体制の仕組み，宋の中央集権的統治体制とその社会経済の発展や中国的文化の特色に関して，基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されている通行証に記された諸民族の文字や，清明上河図など宋代の社会・文化の特色を示す写真・図版などを適切に活用している。 c：中国周辺諸国の変化，契丹や女真と宋の政治的・軍事的対立と交流，宋代の産業や文化の発展について関心を持って学習しようとしている。			
		３．モンゴルの大帝国	a：モンゴル帝国が内陸アジア諸都市の，また元朝が海域のネットワークを支配下に置いた意味を，社会経済的な視点から考察し，文章にまとめる。モンゴル帝国のユーラシアと元朝の東アジア支配の過程と，その支配の特色に関する基本的な知識を身につけている。 モンゴル人が築き上げたネットワークと，14世紀以降，その再編・解体がもたらした諸地域世界への影響に関する基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されているモンゴル帝国の領域図や帝室の系図・ワールシュタットの戦いといった図版・写真などを適切に活用している。 c：モンゴル帝国が掌握した内陸アジア全体に及ぶネットワークとその影響について，関心を持って学習しようとしている。 モンゴルの侵攻を乗り越えて中国との交易を続けた日本の動向について，関心を持って学習しようとしている。			
	アジア諸地域の繁栄	１．東アジア世界の動向	a：明朝が近隣諸国との間に築きあげた冊封=朝貢体制の変化を，日本や女真などの動向を中心とした東アジアの状況と関連付けて考察し，文章にまとめる。 明朝の発展による朝貢世界の確立とその動揺に関する基本的な知識を身につけている。 b：いわゆる鎖国体制をとった日本の対外関係の実態を確認しようとしている。 教科書に掲載されている明の領域図や周辺諸地域図，倭寇や「坤輿万国全図」といった図版などを適切に活用している。 c：明朝の経済的繁栄と銀経済の進展，科学技術への関心を特色とする文化活動について，関心を持って学習しようとしている。	定期テスト 小テスト ワークシート	定期テスト （資料読解・論述問題） ワークシート	討論や発表 ワークシート
		２．清代の中国と隣接諸地域	a：日本や女真を中心とした東アジアの状況の変化に関する基本的な知識を身につけている。清朝の中国統治や宣教師によってもたらされた文化の特色，その隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。 b：清朝と周辺諸地域との関係の変化を，東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連付けて考察し，文章にまとめる。 教科書に掲載されている清帝国の領域図や周辺諸地域図，チベットや琉球の図版などを適切に活用している。 c：清代の中国とチベットや琉球・日本・朝鮮といった隣接諸地域の動向に関して，関心を持って学習しようとしている。			
		３．トルコ・イラン世界の展開	a：オスマン帝国などのイスラーム帝国の強大な皇帝権や官僚制，ヨーロッパ世界との関わり，異民族統治の特色に関する基本的な知識を身につけている。 b：中央アジア，西アジアに成立した広大な版図を持つ各イスラーム諸王朝の支配の特色や共通点を考察し，表などにまとめる。教科書に掲載されているオスマン帝国の最大領域を示す地図や，イェニチェリなどの図版を適切に活用している。 c：オスマン帝国，ティムール朝，サファヴィー朝の領域拡大の過程や興隆について，関心を持って学習しようとしている。			
		４．インド・東南アジア世界の展開	a：ムガル帝国の支配の特色やその政策の変化を，インドの地方勢力に与えた影響と関連付けて考察し，文章にまとめる。ポルトガルやスペインの進出と東南アジア交易世界の発展を，多面的に考察し，文章にまとめる。 ムガル帝国の統治システムとイスラーム教徒とヒンドゥー教徒融合の試み，インド地方政権の台頭や東南アジア交易世界の発展に関する基本的な知識を身につけている。 b：教科書に掲載されているムガル帝国の領域を示す地図，タージ=マハルの写真などを適切に活用している。 c：インドにおけるイスラーム支配とヒンドゥー教徒との融和や対立について，関心を持って学習しようとしている。イスラームの東南アジアへの浸透やヨーロッパ勢力の進出について，関心を持って学習しようとしている。			

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度